

工夫で!

平成18年度

一般会計補正予算

平成18年第4回定例会は、12月5日から12月21日まで17日間の会期で開かれました。一般会計補正予算(補正額6億3601万5千円)、特別会計補正予算8件、市の基本構想、条例制定など、27議案が提出され原案どおり可決。

意見書3件を含む議員発議4件も可決。さらに、平成17年度の一般会計・特別会計など10件の決算を認定しました。

その他、旧緒方町中山間地域等直接支払い交付金過払いに関するものなど3件の請願を採択、陳情は1件を採択し、2件を不採択としました。

主な
歳出

■土地購入費
(大野町田中地区店舗用地)
2341万円

■神楽会館建設工事
基本設計委託料(清川町)
323万4千円

■耐震耐力度調査委託料
(三重中・大野中ほか)
745万円

■河川災害復旧費
3527万7千円

■道路橋梁災害復旧費
2174万4千円

■農業用施設災害復旧費
(農地・施設 268件)
3億40万9千円

災害復旧費

- 千歳町新殿平尾社付属
新殿獅子団補助金
(獅子頭、カヤ)
160万円
- 介護保険特別会計繰出金
2279万3千円
- 検査検診委託料
(公立おがた病院での節目
検診)
2365万8千円
- 園芸農業構造改革対策
事業補助金
1013万5千円
- そよかぜ田園住宅建設
工事請負費(緒方町)
2580万円
- スポーツ少年団
(5団体の全国大会出場
補助金)
・犬飼ソフトテニス部
・三重ウイメンズジュニア
ソフトテニスクラブ
・緒方レポリューション
〔綱引き〕
・FC大野サッカー少年団
(三重)
・ドリームNOT(緒方)
〔ドッチボール〕
131万5千円



▲ゴールめざして、心はひとつ!!

努力と

平成17年度決算認定

一般会計の基金〔貯金〕状況

基金名	平成16年度 (平成17年5月31日現在)	平成17年度 (平成18年3月31日現在)
財政調整基金	14億4,456万6千円	14億4,487万9千円
減債基金	10億6,076万5千円	10億6,091万1千円
その他特定目的基金	27億6,199万8千円	27億6,809万1千円
その他定額運用基金	6億2,916万7千円	6億2,916万7千円
合計	58億9,649万6千円	59億 304万8千円

特別会計の基金〔貯金〕状況

基金名	平成16年度 (平成17年5月31日現在)	平成17年度 (平成18年3月31日現在)
国民健康保険基金	6億8,152万5千円	6億5,912万4千円
国保直営診療所基金	1,451万2千円	1,451万2千円
介護給付費準備基金	8,740万8千円	8,741万1千円
農業集落排水事業基金	1億8,316万4千円	1億8,316万7千円
公共下水道事業基金	3,678万1千円	3,678万2千円
浄化槽整備推進事業基金	776万8千円	776万8千円
簡易水道事業基金	1億6,089万3千円	1億6,089万6千円
出産資金貸付基金	—	300万円
高額療養費貸付基金	1,550万円	500万円
合計	11億8,755万1千円	11億5,766万円

会計別地方債残高〔借金〕状況

会計名	平成16年度 (平成17年3月31日現在)	平成17年度 (平成18年3月31日現在)
一般会計	383億 84万7千円	377億8,614万2千円
国保直営診療所	227万2千円	172万6千円
農業集落排水	14億6,466万円	15億8,409万9千円
公共下水道	7億4,024万6千円	6億9,133万円
浄化槽施設	4,300万円	7,140万円
簡易水道	28億7,648万3千円	27億3,830万4千円
上水道	10億9,334万7千円	10億8,758万1千円
おがた総合病院	39億 314万7千円	37億5,120万8千円
合計	484億2,400万2千円	477億1,179万円

研修視察

総務

「八木バイオ
エコロジーセンター」

京都府南丹市八木町は、自然環境に対する意識が高く、地球温暖化やオゾン層の破壊といった環境保全問題に、いち早く取り組んできました。

「びわ湖・里山
観光振興特区」

に、循環型社会が実現しつつあるのです。人と自然にやさしい共生社会の先進地でした。

滋賀県高島市は、本市と人口・面積で類似しており、高島郡6町村が合併し、誕生した新市です。

18年4月に全国で初の営業開発室を創設し、助役をトップに5人体制で農業を中心に産業経済の振興に取り組んでいます。

高島市には田園の原風景が残り、エコ・ツーリズムのモデル地区に指定を受けています。里山に注目が集まる中、市民に挑戦する機会をつくり、やる気のある人に支援事業を実施しています。

市民参加による事業興し、地域活性化の今後を注目の点だと思います。

今回の研修は、今後のまちづくりに必要なヒントをいただいた気がしました。



▶高島市営業開発室からの説明

センターでは、畜産や食品工場の廃棄物で堆肥を作り、発酵過程で発生するメタンガスを有効利用して発電し、電力として還元しています。

さらに、メタン発生後の消化液は、田畑の有機肥料として再利用され、病気に強く、おいしい安心安全な有機農業に役立っています。また



▲60万鉢に圧倒されました

産業建設

愛知豊明花き地方卸売市場は、流通をコンピュータで管理し、信頼性のある効率的な取引を行っています。セリ場には、約300人の買い手の席があり、日に60万鉢以上という大量取引がされ、先進的な流通システムが構築されています。

テム体系が構築されています。

キク生産者グループの有限会社お花屋さんは、愛知県渥美半島に位置する田原市にあり、独自のルートにより、全国各地の市場に出荷しています。

平成14年より新規就農者や中国の研修生などを受け入れ、技術的な指導を行っています。

しかし、さまざまな課題もあり、新規就農者へのサポートなど、行政への注文もあります。

愛知県農業総合試験場は、作物・園芸・畜産の3つに区分される研究グループがあります。

その中で、作物研究部は、主に稲・麦・大豆など、畜産研究部は、牛・豚・家畜ふん尿処理などの試験研究を行い、農家からの要望などを取り入れ、技術開発を行っています。

今回の研修で、本市も広大な農地と豊富な水資源を活かした企業誘致や農業施設の整備が必要と感じました。

常任委員会

「みんななかよし」認定子ども園の園児たち



厚生
文教

東京都新宿区にあるエイビイシイ保育園は、認定子ども園制度の総合施設モデル事業として先行実施している施設です。

無認可保育園として18年間が経過した後、都内初の24時間保育園として認可された社会福祉法人でもあります。

農家と契約した有機食材の利用や食育へのこだわりなどにより、保護者の信頼と期待が寄せられています。

また、放課後児童クラブにも積極的に取り組み、「安心して預けられる場があれば少子化は防げる」との園長先生の言葉が印象的でした。

健康長寿都市宣言した長野県佐久市は、一年間医療機関にかならなかった70歳以上の方へ、健康優良表彰を行うなどの施策により、当市と比較してひとり当たり老人医療費で約15万円低額となっています。

全国的に注目されている保健補導員制度は、現在712名の主婦を中心として組織され、これまで延べ1万6千人の方が携わり、自分の健康は自分で守るという意識が家庭の中から育てられています。

その活動は、自主的な保健活動による健康教育を自分自身の体験として、家庭内や地域に広めることなど、市民の健康に対する意識改革の向上に貢献しています。また、「びんぴんしながらころころ」という意味の「びんころ地蔵」も有名です。

この研修を今後の参考としていきたいと思えます。

● 請願 ●

件名	請願者氏名	紹介議員氏名	結果
旧緒方町中山間地域等直接支払い交付金過払いに関する請願書	緒方町中山間集落協議会連絡会 会長 吉野 勝幸	渡邊一文・伊藤憲義 橋本祐輔・衛藤竜哉	採 択
請願趣旨は、「過払い金の返還については、分割による返還方法や、返還金の減額を視野に入れた協議の場を行政側と持つことで円満解決の方法を探りたい」であり、「市と十分協議し、解決に向け努力することが望ましい」として採択しました。			
国と県へ就学前までの乳幼児医療費助成を求める請願書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	神志那宗作 後藤 章子	採 択
障害者自立支援法の見直しを求める国への意見書の提出をお願いする請願書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	後藤 章子 神志那宗作	採 択

● 陳情 ●

件名	陳情者氏名	結果
国保・介護保険の保険料・利用料減免制度の創設と拡充を求める陳情書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	不採 択
医療制度改正に関する国への意見書の提出をお願いする陳情書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	不採 択
「最低保障年金制度」の実現を求める国への意見書の提出をお願いする陳情書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	採 択

19名が市政を問う

一般質問



さとういきみ
佐藤生稔



今、なぜ神楽会館か

質問

突然、神楽会館の建設（19年度完成）が発表された。

公共施設の新規建設は凍結とした集中改革プランに例外を設けるべきでない。丁寧な説明と全市的な合意形成が必要ではないか。

答弁 企画部長

基本設計で概要を示し、議会、市民に一定の合意形成が図られた後に実施設計に取りかかりたい。

今こそ農業に

「夢」を語れ

“農業を輸出産業に再生”
“農業関連企業の誘致”

質問

畑作振興がカギである。

中国には13億の胃袋がある。生産品目の選択と加工流通など戦略的取り組みで輸出産業に育てる必要あり。

また、大野原にサツマイモを植え、「水」と「土地」（高校跡地）がある緒方町に観光と一体化した焼酎工場などの企業誘致に取り組んではどうか。

答弁 産業経済部長

輸出産業としての再生は、基幹産業である農業の再生の観点から必要な対策と考え、県など関係機関と協議し検討していきます。

また、農業資源や特産品を活用した製造業、酒造業、畜産業などの企業誘致には積極的に取り組みます。

※その他

農業者、市民、行政協働で「菜の花エコ・プロジェクト」の取り組みを



▲広大な大野原の大地（大野町）



こうじな そうさく
神志那宗作



過払い金の返還要請は

質問
旧緒方町の行政ミスによる中山間地域等直接支払い交付金の過払い金9454万3899円について、市長は関係農家に全額返納を要請しているが、これには無理があると思う。



▲整備が進んだ中山間地域（清川町）

民法703条から見て農家には返納義務はあるが、それはあくまでも、その利益の存する限度において、つまり現存利益についてのみである。

農家への返納要請は、現存利益についてのみ行い、行政ミスの責任分をも若干考慮して、返納金額について合意を図るべきではないか。

全額返納免除は、市民の納得と合意が得られないと思うがどうか。
現存利益は、概ねどのくらい存在するか。

答弁 市長

今議会に、旧緒方町中山間地域等直接支払い交付金過払いに関する請願書が上程されており、議会の動向を踏まえて検討します。

全額返納免除は、私も市民の納得が得られないと認識しています。

交付金は、38集落、1500農家に支払われています。民法703条に現存利益に係る返納義務が規定されていますが、膨大な作業時間と労力を要するため、現存利益の立証は厳しいと考えています。

こうあきこ
後藤章子



質問

国・県からの事務事業の委譲状況と財政措置は。

答弁 企画部長

本市に委譲されている事務項目は14事務、78項目です。

過払い問題の早期解決を

今議会上程の請願に「問題提起されてから15ヶ月間、解決に向けての誠実な具体的対応策が行政側より遅々として提示されません」とあるが、この指摘に対する市長の見解は。

質問

また、この請願が採択されたら請願の趣旨に沿った対応をするのかどうか。

答弁 市長

去る11月17日および29日に緒方町中山間集落協議会連絡会の役員の方と話し合いの場を設け、「基本的には全面返還を」ということで市の考えを伝えました。今後は、市民全体の納得と合意が得られるように努力をしたい。

質問

下水道処理事業における格差是正の検討状況は。

答弁 建設部長

18年5月に「下水道事業運営協議会」を、また建設部内にも「検討委員会」を設置しました。

19年度に施行方法や料金改定などの検討協議を行います。



▲施工中の合併浄化槽

えとうちよこ
恵藤千代子



障がい者の就労支援

質問

障がい者就労・生活支援センターの設置を。

答弁 保健福祉部長

県知事の指定を受けるには、広範な業務に対応可能な体制づくりが必要です。今後、調査・研究を行い、県や近隣の市と連携し、取り組んでいきます。

質問

まず、公共機関から雇用を。

答弁 総務部長

本市の雇用状況は、法定雇用率からみて未達成です。採用は、集中改革プランに沿い、民間企業に率先垂範して障がい者雇用を推進すべく、障がい者を含めた募集を行っていきたい。

県道の整備促進

質問

県下で最も低い県道の改良率アップの施策は。

答弁 市長

本市の県道延長が他市に比べ長いことや急峻な地域条件などが低い要因です。今後、観光や地域経済振興につながる路線、さらに生活道路路線は、待避所や視距改良、1.5車線道路の整備促進などを要望していきます。

視距とは？

自動車の運転者が道路前方を見通すことのできる距離。

質問

県道山内(犬飼町)・新殿(千歳町)線の整備は。

答弁 建設部長

現在、千歳支所前を事業着手していますが、山内までの道路改良については、中九州横断道路の供用開始で利用が増が予想されることから、現工事箇所の進捗

状況を見ながら要望を行います。



▶改良が急がれる県道(伏野宇目線)

ふかたまさかず
深田正和



公営企業の

基本理念は

質問

地方公営企業の独立採算

制は地方公営企業法により、一般行政事務とは性格を異にする。

公営企業の独立採算制についての考え方を伺う。

答弁 市長

採算性の乏しい事業であって、やむを得ず繰出基準以上の経費が必要になった場合は、他の会計から繰出すべきと考えている。今後は、独立採算を原則とし、集中改革プランに基づき健全経営に向けて鋭意努力します。

公営企業とは？

能率的経営を確保し、経済性を発揮するよう特別経営組織が設けられています。

本市では、上水道事業、公立おがた病院事業があります。

青少年の健全育成と環境づくりについて

質問

次代を背負う青少年教育の使命は重要である。

昨今いじめや自殺、暴力や非行が増加している。この現状を是正するための環境づくりにとどのように対処すべきか。

答弁 教育長

地域教育振興モデル事業、職場体験学習を実施し、地域の温かさ、家庭での励まし、適切な学校の指導により、生徒の著しい成長が図られました。学校・家庭・地域の連携を密にして本市における健全育成の環境づくりに取り組んでいます。



▶いよいよ、大人への仲間入り(成人式 エイトピアおおの)

あんどうとよさく
安藤豊作



4月からの
消防体制は

質問
新消防本部の準備状況は、また隣接市との相互支援体制は。

答弁 総務部長

臼杵・竹田市との協議で、事務委託廃止に関して基本的に合意に達している。

本部体制としては、管轄区域の変更など、さまざま業務のすり合わせを行っており、消防車の購入や分署の建設も順調に進んでいます。

相互支援体制については、県常備消防相互応援協定に基づき、体制を整えています。

質問
消防団組織の見直しと団員確保対策は。



▲急ピッチで工事が進む大野分署…4月に開設します

答弁 総務部長

現行の連合団制では広域災害において、指揮命令系統に遅れなどが懸念されま

す。

あらゆる災害に迅速に対応できる消防体制や消防力の向上を図るため、一市一団に向け、各消防団と協議を進めたい。

団員数は、定数を充足していない団や人口比率などを考慮し、機能別団員や分団の導入についても検討を重ねていきます。

だいじょうぶ
子どものいじめ

質問

市内小中学校のいじめの実態とその対策は。

答弁 教育次長

上半期、9校で26件が確認されました。

市内全校で全ての児童に面談やアンケートを実施し、より詳細な実態の把握と早期対応に努めます。

みやなりあきよし
宮成昭義



市の財政状況は

質問

市税および国保税など含め、3億8667万円余りの未納があるがどうするか。

答弁 総務部長

未納額については、財政

基盤の確立を図るため徴収率向上に努めます。

質問

新型交付税導入に伴う影響は。

答弁 総務部長

新型交付税を導入した際の試算を行い、導入による影響額が生じないように調整を行っている段階です。

一芸職員の採用枠を

質問

市職員の採用については特別枠を設けてはどうか。

答弁 教育長

小中学校で29名の児童・生徒がいます。

今年度より発達障がいのある児童に対する支援として、学習障がいや注意欠陥、多動性障がいのある児童を対象にした通級指導教室が設置され、個に応じた教育計画により、指導が行われています。

※その他

- ・基金の積立は
- ・生徒指導の見直し



▲昼休み、元気に遊ぶ子どもたち（清川小学校）
※本文とは関係ありません

学校教育について

質問

障がいのある児童の現状と対策は。

さとう たつみ
佐藤辰己



**インターチェンジは
中九州横断道路**

質問

大野・竹田間にインターチェンジを増設する推進計画はあるのか。

答弁 市長

平成19年度に大野・竹田間のルートを決定、平成21年度より工事に着手し、平成27年度を完了目標と伺っています。

インターチェンジは、現時点では朝地町の「道の駅あさじ」および竹田市「竹田中学校」付近が予定されているようです。

増設の必要箇所があれば、今後の道路設計などの状況を見ながら国土交通省に要望していきたい。

えとう たつや
衛藤竜哉



**市民に見える
行政とするために**

質問

議場の生中継が必要と考えるが、見解は。

また、市全域にケーブルテレビを段階的にでも普及する考えは。

答弁 企画部長

市議会の議場状況など、公正で透明性の高い情報を、多くの市民に届けるのは重要であると考えています。

例えば、市議会のホームページで、収録映像を見ることができるようになるなど、手法を検討していきたいと思えます。

ケーブルテレビの普及擴張は、技術革新の進展などを総合的に考え、今後さらに検討を重ねていきたいと考えています。



▲開通間近な 犬飼—千歳間の中九州横断道路
(千歳町高添付近)



▲毎年行われている高千穂町との地域間交流
“もみじ祭り”も11月上旬に開催されています

**宮崎県高千穂町との
交流・連携を**

質問

県境ということもあり、昔から交流してきた。

これからも行政・商工会などを通じて、道路改良、産業、観光など地域の発展のため、交流を深めていく必要があるが、考えを伺う。

答弁 企画部長

高千穂町と連携し、「主要地方道緒方高千穂線整備促進期成会」で引き続き要望活動を行っていきたいと考えています。

今後も県の枠を超えた住民同士の交流がますます盛んになることを望みます。

おのじゅんいち
小野順一



支所庁舎の有効利用を

質問
空き部屋を団体などの事務所として、貸し出しはできないか。

答弁 市長
団体などの事務所となると、不特定の個人・業者の出入りが考えられ、セキュリティ（安全・防犯）上の危険性が心配されます。今後は、集中改革プラン



▶村長室が今は図書室に（千歳町）

の中で公共施設の見直しを行い、利活用を積極的に検討していきたい。

夢のもてる農業に

質問

堆肥の有効利用として炭素化する技術が開発されています。炭素の特性を農業に活用し、安全・安心なものがづくりのための「プロジェクトチーム」を結成しては。

答弁 産業経済部長

近年は、バイオ技術の著しい進歩が見受けられます。こうした技術をいかに農業に取り入れていくか、県の試験機関や大学、農業団体、民間企業との連携を図りながら取り組みを進めていきたい。

ながのけんじ
長野健児



農地、水、環境保全向上対策

質問

この事業の取り組み状況は。

答弁 産業経済部長

全国的に高齢化、混住化が進む中で、農業者だけでなく自治会、地域住民が一緒にあって資源を守る、それを支援する事業です。

今まで資源保全の対象となっていなかった平坦地域や畑地を中心に推進します。この事業は、農振農用地が対象となり、水田で約200ヘクタール、畑で約800ヘクタールほどの要望が出ています。

ふるさと

イキイキ事業

質問

この事業の効果をどのように捉えているのか。また、方向性は。

答弁 市長

周辺部対策の一環として、本年度から3年間取り組む事業で最重要施策の一つです。

実施初年度としての事業効果は大きいと判断しています。地域を活性化させる主体的な事業展開を期待します。

答弁 企画部長

地域住民と手を取り合って取り組みたい。

また、各町の特徴あるイベントを大事にし、市民の皆様からの提案を取り入れていきたいと思えます。



◀犬飼名物どんこ釣り大会
…毎年5月5日に開催

ふかたせいぞう
深田 征三



どうする
形だけの総合計画

質問
市は、合併を機に新市まちづくり計画を策定した。また、12月定例会で、第一次豊後大野市総合計画が提案されました。



▲職員を対象にした行政評価システムの勉強会

この基本計画の中では、行政改革を進める手法として、「市民に信頼される行政システムづくり」で、PDCAサイクルの工程における業務改善や、徹底的な行政経費の削減を図り、財政基盤の強化につなげる事が強調されている。しかし、その実効性には疑わしいものが多いと思われる。

したがって、その懸念を払拭するために、ISO品質マネジメントシステムの認証取得を考えてはどうか。

答弁 企画部長

合併協議の中で、ISO認証取得はしないが、準じた独自のマネジメントシステムを構築して取り組むとされています。

職員の意識改革のため、今年度よりVE研修など専門的な研修会の開催や派遣を積極的に行います。

また、平成20年度導入予定の行政評価システムで、

市民の視点に立った成果重視の行政運営を実施し、市民満足度の高い行政サービスを提供していくこととしています。

PDCA
サイクルとは？

計画(P)、実行(D)、評価(C)、改善(A)の工程によって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進する手法。

VEとは？

バリューエンジニアリングの略で、公共工事における「ものづくり」の発想を「価値づくり」に転換し、本来必要とされている機能を重視し無駄を省いていく設計手法です。

あさのみすみ
浅野 益美



県との
事業連携は
いかに

質問

県道整備と高規格道路への対応は。

答弁 建設部長

県道改良は、県土木建築部や土木事務所などへ要望活動を行います。

なお、期成会がある場合は期成会で要望を行います。

事業進捗には用地取得が必要不可欠であり、地元期成会と連携し、関係地区との調整を図ります。高規格道路についても同様に要望し、国土交通省と協力して早期完成に努めます。

質問

地域活性化に向けた周辺対策補助金の活用は。

答弁 企画部長

合併地域活力創造特別対策事業の実施状況は、市内17件で補助額1308万円です。

たいとう
台東区との
ビジョンは

質問

友好都市「東京都台東区」との今後の展開はいかに。

答弁 市長

東京の中心部にあることから情報の発信や市場開拓の拠点として首都圏にアピールでき、大いに期待できます。

今後は、新たな展開に向け、事務レベルで検討を重ねていきます。



▲浅草雷門は台東区にあります

えとうまさひろ
衛藤正宏



道州制について

質問

道州制の議論が盛んになってきたが、地方自治との関係、今後の対応について。

答弁 市長

地方分権改革の一環として、これから道州制に関する議論が活発になることが予想されます。市としては、国の動向を注視しながら対応していきます。

農業振興計画は

質問

新たな農産物の開発が課題と思うが、今後の計画を問う。

答弁 産業経済部長

19年度設置予定の農業振興センター（仮称）におい

て、市の農業振興計画に基づき協議をしていきます。

支所庁舎の利活用

質問

新市の一体的な発展を期するため、分庁を含めた利活用を考えてはどうか。

答弁 総務部長

分庁としての利用は考えていません。その他の利活用は、市民のご意見をいただきながら検討していきます。



▶市内全域で取材しています

ケーブルテレビの
広域化

質問

市としての方向性を早急に出す必要があると考えるが、現在の状況を問う。

答弁 企画部長

財政状況や行政改革の進捗、技術革新の進展などを総合的に勘案して今後検討を重ねていきたい。

たかやまとよよし
高山豊吉



観光と地域づくり

質問

観光振興、ツーリズム（観光事業・旅行・交流）への取り組みは。

答弁 産業経済部長

既存の団体・地域におけるリーダーの育成はもちろ

ん、誰もが参画できる風土づくり、気運の醸成に努めていきます。

質問

大野川水系の豊富な水、生物（魚類・植物）、景観、歴史的資源を活かした「川の駅」構想を描けないか。

答弁 産業経済部長

新たな施設整備を伴わず、既存の施設や資源、行事を活用する中で、今後研究をしていきたい。

文化財への対応

質問

旧町村の文化財調査委員会は、合併後、文化財保護審議会となり10名の委員が任命されている。

人員削減で、文化財行政の後退はないのか。

答弁 教育長

文化財行政が後退していきるとは考えていない。新市発足時点で文化財課



▲歴史を物語る石畳（岡藩 中川公ゆかりの犬飼港跡）

を配置し、より専門的な文化財行政を図っているところです。

質問

文化財所有者、管理者の高齢化などによる管理条件の低下が懸念されるが。

答弁 教育長

文化財に携わるボランティアの育成など、支援策を検討したい。

※その他

文化財の活用策

きよた まん さく
清田満作



**市勢発展の
農業施策は**

質問

担い手に該当しない農業者の対応策について

答弁 産業経済部長

対象とならない農家については、担い手の条件整備

ができるよう、支援を行います。

対象不可能な農家には、農家の生産基盤や条件に合った作物への転換を指導します。

質問

現今の社会情勢下において、退職者・Uターン・Uターンなどの課題を含め、農業特区への取り組みの考えは。

答弁 産業経済部長

地域活性化に有効な制度です。旧町村時からの経緯、課題や農地実態調査を勘案し、検討していきたい。

質問

企業型農業誘致は、地域と企業、行政が連携を図り、信頼関係を築くことが重要だと考えるが、その見解は。

答弁 産業経済部長

誘致推進は、農地所有者や周辺農家、地域の意向を反映し、各関係機関や関係団体との協議を重ねていく必要があると考えます。

はしもと ゆうすけ
橋本祐輔



**市の文化財保護は
今のままでよいか**

質問

文化財保護は、ともすれば政策の優先順位の後方に位置づけられかねない。ましてや、今の財政状況下では厳しい。

しかし、このままでは手遅れになる。保護の基本方針は何か。

答弁 教育長

3つの柱として、

① 地域の歴史・文化財・伝統文化の調査研究と保存整備を行う。

② 歴史民俗資料館などの展示の充実や整備を行い、文化財・伝統文化の情報を発信する。

③ 文化財・伝統文化が次世代に引き継がれるよう、市民の愛護意識の高揚を図るとともに、愛護団体の育成と協力を図る。

歴史民俗資料館においても企画展などを開催し、文化財の保存・活用に努めていきたい。

質問

合併により文化財保護のための補助金がほとんど廃止された。

今後はどうするのか。

答弁 教育長

少額の補助金で指定文化財の維持管理ができていたことは事実。

指定文化財の所有者・管理者の高齢化などで、その維持管理が危惧されており、行政が手助けをしないと非常に維持管理が困難な指定物件もあります。

補助金のあり方については、行政改革大綱や集中改革プランとの整合性を図り、指定文化財が将来にわたり保存・活用されるよう検討していきます。



▲清川町に進出した菊栽培の優良企業“お花屋さん”



▲鎌倉時代のもと考えられる国指定史跡“緒方宮迫東石仏”

わたなべかずふみ
渡邊一文



**18年産米の
水稲災害**

質問

天候不順による水稲の災害状況について

答弁 産業経済部長

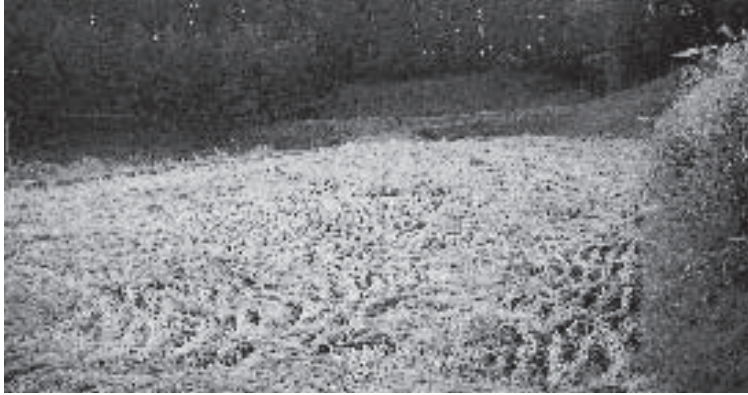
12月5日報告の作況指数は、県南部地区89となっており、これは、台風13号による被害と登熟期前半の日照不足後半の少雨による登熟不良が原因です。

質問

水稲栽培農家に対する災害援助は。

答弁 産業経済部長

水稲被害に対する金融支援策として、県・市・金融機関の三者が行う「平成18年産水稲被害に対する金融支援



▲昨年の米づくりは「ようなかったなあ」

措置」を実施します。貸付区分を特別被害者、3割被害者、一般被害者の三段階に分け、減収補填分に對し、個人200万円、法人1000万円を限度に貸し付けます。金利は、三者の利子助成により、特別被害者0%、3割被害者0.5%、一般被害者1%、貸付期間7年、利子助成期間5年となっています。

あかみねけんじ
赤嶺謙二



**「いじめ」は
人権侵害**

質問

どのような場合を「いじめ」というのか、定義は。

答弁 教育長

文部科学省では、①自分より弱いものに対して一方的に行う。②身体的・心理的な攻撃を継続して加える。③相手が深刻な苦痛を感じている場合。としています。

質問

「いじめ」は、人権を侵害する行為である。本市での実態把握と防止策は。

答弁 教育長

今年度は、小学校で4校6件、中学校で5校20件、合計9校26件を確認。



▲「メイン」一本！（三重高剣道部）

**国体の
受け入れ体制は**

質問

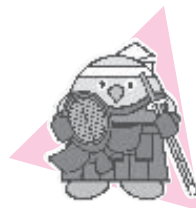
ホテル、旅館などの施設の確保、民泊の利用数は。

対策としては、人権教育をすべての教育活動の基盤に据えます。各学校では、定期的な面談やアンケートの実施、いじめ相談電話の設置、全自治会への情報提供の依頼などを展開していきます。

民泊は最終的手段だと考えるが。

答弁 教育次長

本市を訪れる関係者は、4競技で1788名を試算。うち宿泊施設は、14施設・985名が可能です。剣道競技の関係者777名のうち、宿泊施設で対応できない320名を民泊として考えています。





特集
豊後大野市
議会交通



ふるさとを遠くにありて想う

—在京 豊後大野市人会総会—

年の瀬も迫った平成18年12月16日(土)、市人会の総会がグラウンドパレス(東京都千代田区飯田橋)において、正午から開催されました。

三重町出身者21名を始め、緒方町19名、清川町14名、朝地町・大野町・犬飼町それぞれ8名、千歳町4名と総勢82名の会員の出席でした。

本市から来賓として、芦刈市長、小野副議長、浅野議員・赤嶺議員が出席をしました。

県選出の後藤博子参議、足立信也参議もあいさつに見えました。

主催者・来賓のあいさつのあとの総会では、こ

れからも連絡をとりながら、ふるさと豊後大野市を支えていくことなどが確認されました。

乾杯後の懇親会では、皆さんのふるさとに対する熱い思いを、数多くお聞きしました。

また、年4回発行の市議会だよりをいつも楽しみにして読んでいるとのことでした。

故郷を離れて40〜50年、いくつになっても「ふるさと」は忘れがたく、いいものであることを再認識した1日でした。

おわりに、在京市人会の皆さんのご活躍・ご健勝を祈念いたします。





手づくり 夢をたくして

朝地町市万田

ひら た
平田 むつみ

楽しく大切に、心をこめて手づくりしたい。
たくさんの方に暖かな安らぎのひと時を過ご
してもらいたい。

手づくりに夢を話し、お店を始めて3年。
同時に町の活性化、新たな商業ゾーンにとい
う夢も託されました。でも、現実はとても厳
しいものです。

「夢だけでは、食べていけない。だけど夢
がなくては生きていけない。ここには、夢が
ある。めげずに頑張る。」

お客様にいただいたことばが、今、私の心
の支えになっています。たとえ、どんなに小
さな物でも、心をこめてこつこつと作り上げ
てゆく。受け取る人の笑顔を思い描いて。手
づくりの「心」です。政治や教育、私たちの
社会もこうあって欲しい。

今年、隣のお店と共に豊後大野市の「まち
の駅」に参加しました。「ほっとステーショ
ン」いいですね。この小さな町の小さなお店
に夢と希望をいっぱい詰め込んでお待ちして
います。

微力ながら町や人々に元気を出していただ
けるよう、ここで頑張っています。



▲思わず手にとってみたくなる…
すべて手づくりの小物



その人らしく…

清川町砂田

しば た さと み
柴田 智美

「これからも今のままの清川であってほし
い。」

キャリア・スタート・ウィーク（職場体験）
を終え、エイトピアおおので行われた体験発
表での中学生の言葉が耳に残る。中学生なが
らに感じた自然や人、環境を含めた地域の豊
かさを認めた素直な言葉だったのだろう。

昨今、マスコミを賑わす子どもへの虐待、
いじめ、自殺とは無縁だなどと実に頼もしく感
じた。

しかし、その反面、豊後大野市でもネグレ
クトといわれる育児放棄、虐待などが数々あ
ると聞く。支援は充分か、対応は行きわたっ
ているのだろうか、ふと疑問が残る。とも
すれば、後手へ後手へと回る行政の対応の不
充分さに憤りを感じることもさもある。

そう考えた時、分野別に行われる福祉サー
ビスだけでなく、年齢を問わず障がいの有無
程度、種類に関わらず誰でも柔軟に受け入れ
られるサービス作りの必要性を痛感する。

地域の一員として誰もがその人らしく、安
心して生活できる「まちづくり」を望む。

胸をはって故郷が誇れるように。





広報編集特別委員会

レポート 研修視察

島根県雲南市は、平成16年11月1日に5町1村で合併。人口4万5365人で、本庁と6支所体制を採用しています。議員数は、本市と同様の定数特例で38名。特色は、一般質問をケーブルテレビで全市に放映、議会報を定例会が終了した翌月の20日に発行している点です。

香川県東かがわ市は、平成15年4月1日、3町で合併。人口3万5499人で、3分庁、2出張所体制を取っています。

現在、議員数は24名ですが、合併時に2年間の在任特例を採用したことで、全国初のリコールが成立し、再選挙が行われたとのこと。

2つの市とも議会報の発行を早めるべく、最大限の努力をされていることや論議を尽くし、何事にも積極的に取り組まれていることに、身の引き締まる思いがしました。

今回の行政視察を活かし、工夫と行動により、さらに読みやすく、分かりやすい議会報づくりに取り組みます。



〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地
TEL 0974-22-1001 FAX 0974-22-8101

傍聴にどうぞ!

◇3月定例会は
3月6日(火)に
開会予定です。

詳しくは議会議務局
(TEL22-1001)へ
お問い合わせください。

こころの扉

楽になりたい 逃げ出したい
たったひとりだ 悩んでないで
こころの扉 開いてごらん
勇気を出して 話してごらん
きつときつと 分かってくれる
ひとがいる

きみの生命は みんなの生命
両親にもらった だいじな生命
こころの扉 開いてごらん
つらさ悔しさ 話してごらん
きつときつと 助けてくれる
ひとがいる

こころの扉 開いてごらん
星を見上げて 歩いてごらん
きつときつと 元気が出るよ
あしたこそ

※今、「いじめ」が大きな社会問題となっています。
理由は何であれ、いじめる人たちが絶対に悪いことは明らかです。
(A)

議会の情報をホームページでご覧いただけます。

<http://www.bungo-ohno.jp/gikai/index.htm>



■広報編集特別委員会

委員長 高山 豊吉
副委員長 赤嶺 謙二
委員 安藤 豊作
長野 健一
小野 順哉
衛藤 竜哉